

## 7. 調査方法に関する課題

当調査を実施した際に、調査の問題点、限界点が明らかとなった。表 7-1 にその課題と対応策についてまとめる。

表 7-1 調査における課題と対応策

	項目	課題	対応策
1	調査枠の設置方法	人力で移動できない流木・漁網がある位置に調査枠が設置できなかった。	調査枠を設置する前に、調査範囲対象区域のゴミを一斉に撤去し、任意の場所に調査枠を設置する。
2	ゴミの漂着状況の把握	想定したよりゴミの再漂流や移動が大きく、風や河川流量と漂着状況の関係が把握し辛かった。	定点観測の観測地点数を充実させ、より短周期の漂着量変動の把握に努める。
3	発生源の把握	発生国、発生場所を把握するためのライター、ペットボトル等が調査枠だけでは十分に取得できなかった。	調査範囲においてライター、ペットボトルの全量回収を実施し、発生源の推定を行う。